



アドナイ刊

主の山に備えあり (創世記22章)

発行 社会福祉法人 十字の園

ケアハウス アドナイ館
 細江デイサービスセンター
 発行責任者 鈴木 淳司

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7437-8

電話 (053) 439-1200 (代表)

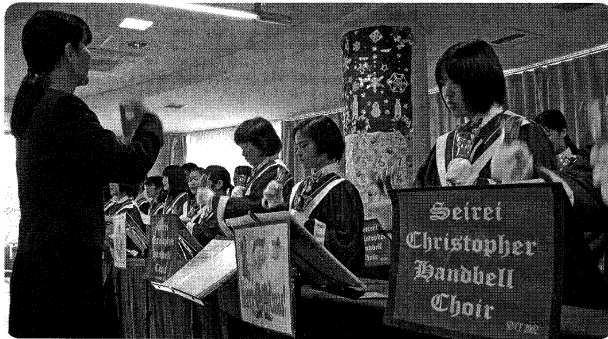
439-1212 (デイ直通)

FAX (053) 439-1211

郵便振替 00890 - 9 - 125741

E-mail: hm-adonai@orion.ocn.ne.jp

URL: http://www.jyuji.or.jp/hamamatsu_city/adonai/



アドナイ館 クリスマス祝会

2019年12月21日



「令和」になったと思ったら、もうお正月が過ぎてしまいました。皆さんどのような新年をお迎えになりましたか。我が家は孫の受験で老夫婦は寝正月でした。令和元年は「即位正殿の儀」・「祝賀御列の儀」と皇室行事に湧きました。年末の今年の漢字は「令」という事でした。清水寺の森貫主は「年号が変わり、皆さんの気持ちも新しくなったのではないか。これからの時代も皆で仲良く力を合わせて生きていかなければいけないと改めて感じた」とおっしゃいました。又、日本漢字能力検定協会も、「明るい時代を願う国民の思いが集約された」と言っていました。そして、アツと言う間に令和二年。今年はオリンピックが一大イベント。真夏の暑い中、世界中のアスリートが東京・札幌に集まってきます。又、応援の外国人も大勢いらつしゃいます。さて、皆さんはどの競技を応援されますか。私は勿論陸上競技。一〇〇mで世界記録が出るかしら。日本の選手は何処まで等々。とても楽しみにしています。みんなで応援しましょう。台風や水害等重苦しいニュースも続いていた元年でした。今年には是非明るい健康的な年になることを願います。

K・K



「新年のご挨拶」

施設長 鈴木淳司

新年 明けましておめでとう
ございます。

二〇二〇年は、創設の時から
六〇年が過ぎ、法人にとっては
節目の年となります。

今年のローズンゲン（日々の
聖句）で選ばれた年間聖句は、
マルコによる福音書九章二四節
で、左記に示された箇所です。

その子の父親はすぐに叫ん
だ。「信じます。信仰のないわ
たしをお助けください。」

ここに書かれていた父親の子
供は、汚れた霊に取りつかれて、
ものが言えず、幼い時から悪霊
に火や水の中に投げ込まれてい
ました。父親は、息子を助ける
ために、何度も何度も色々な人
に頼んだことでしょう。けれど、
汚れた霊を追い出すことは誰も
できませんでした。イエス様の
弟子にも頼みますが、追い出す
ことができません。

皆さんがこの父親でしたらど
う思われるでしょうか。私なら、
同じことが繰り返される中で、

息子は助からないのだと諦めて
しようと思えます。この父親も、
そう思ったのかもしれませんが。

だから、イエス様に「おでき
になるなら、私どもを憐れんで
お助けください。」となかば諦
めたように頼みました。イエス
様は、父親の消え入る様な信仰
に、「信じる者にはなんでもで
きる」と強く語られます。その
言葉を聞いた父親は、思い直し
強く叫びます。「信じます。信
仰のないわたしを助けてくださ
い。」と。

私たちは、信じる心を消し去
るような出来事に会い、諦め
てしまう事も多くあります。し
かし、その時こそ諦めの心に押
しつぶされず、すべての事を成
したもう主の臨在に信頼し歩み
続ける事が大切なのだと思います。

今年も皆様と共に、主に従い
歩んで行きたいと思えます。

地域のひろば

小羊学園のはじ
まりは、一九六六
年に社会福祉法人
十字の園の一施設
として開園した重
度知的障がい児入
所施設である。創

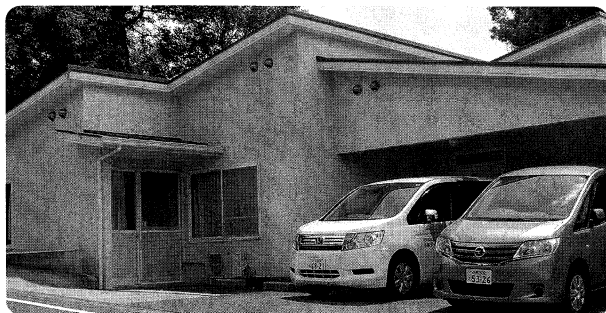
立者山浦俊治は、十字の園の初
代理事長鈴木生二氏の義弟であ
り、小羊学園創立前は聖隷三方
原病院の事務長であつ
た。十字の園が、我が
国の特別養護老人ホー
ムの草分けであるとす
れば、小羊学園は静岡
県の重度・重複の障が
い児者福祉のパイオニ
アとして事業展開して
きた。創立から五四年、
十字の園から独立し社
会福祉法人の認可を受
けて三二年が経過し、
現在は、浜松市内静岡
市内に障がい児、障害
者の入所施設三箇所、
障がい幼児の通園事業二箇所、
障がい児の放課後支援五カ所、
アドナイ館の東隣の小羊ダイケ
アホームを含め障がい者通所施
設が四箇所、グループホーム六

社会福祉法人小羊学園

～十字の園をルーツとする障がい児者福祉のパイオニア～

理事長 稲松義人

箇所を展開している。浜松、静
岡で障がい児者相談にも取り組
み、地域の最新のニーズに向き
合いつつ、浜松市内では行政や
他法人との協働による支援体制
の構築にチャレンジしている。
課題の一つとして、高齢化によ
り身体、精神での機能低下が顕
著に進む障がい者のケアに向き
合っており、今後は、ルーツを
同じくする十字の園浜松地
区の諸施設との連携・協力
の可能性を模索したいと
願っている。



小羊ダイケアホーム



「遅まきながらの自己紹介」

礼拝奉仕者（元聖隷学園教員） 赤井伸之

昨年は、小学校卒業六〇年、大学卒業五〇年という節目の年で、小学校や大学では記念の同期会があり、参加して来た。その昨年五月から月に一〜二回、月曜日にアドナイ館の礼拝奨励を担当することになった。そもそも奨励担当は、大学教員を定年退職し、非常勤講師の勤めも辞めた後、聖隷厚生園の讚栄寮と信生寮の礼拝を頼まれたのが最初で、その後、大学の後輩で小羊学園理事長の稲松義人氏から鈴木淳司氏を紹介され、二〇一三年六月から第二アドナイ館での礼拝奉仕が始まった。現在、毎朝信生寮での礼拝に参加し、他のボランティアはホスピスの礼拝に行くが、私は第二アドナイ館に駆け付け、奨励も火曜日（第三以降）と毎金曜日に担当している。奨励のためには十分な準備が必要だが、第二アドナイ館の礼拝コーナーには、『日々の聖句・ローズンゲン』で選ばれた聖句が掲示され、参加者も

ギデオン協会の新約聖書を参照するので、その新約聖書の箇所を用いて話せるように準備している。三代目のクリスチャンとして、小さい頃から聖書に親しみ、大学一年の時に受洗し、CSの教師経験があるとは言っても、毎朝の礼拝での奨励はまた別ものだ。だがこの歳になっても、日々聖書に親しみ、「御言葉が開かれると光が射出で／無知な者にも理解を与えます。」（詩一九・二三〇）と「わたしが行くときまで、聖書の朗読と勧めと教えに専念しなさい。」（イテモ四・一三）との御言葉に励まされ、素人ながらも聖句を学び、理解の上、人に伝えるという体験を毎日のようにさせて頂けることは、大変有り難いことだ。



福祉情報 - その 143 -

*ごみ出し支援に財政措置

総務省は、一人暮らし高齢者などの自立した生活の支援に向け、ごみ出しが困難な高齢者世帯への戸別回収を支援する市町村に対する財政支援を、特別交付税を活用して行うことを決めた。

この三月の交付分から算定の新規項目を創設。

総務相は「独居で在宅介護の親の介護で最も苦労したのは細かい分別が必要なごみ出しだった」と自身の体験を例に挙げ、支援策の必要性を強調した。

*福祉用具の利用根拠と効果

福祉用具専門相談員の自己研鑽や福祉用具活用の効果を発信する機会として、今年初めて開催された「福祉用具専門相談員研究大会」。第二回目が来年二月に開催することが決まった。

小野木泰会長は「必要な用具が必要なタイミングで提供されているか。アセスメントやモニタリングが行われているかが相談員の専門性の根拠」と言い、人材育成の面からも示唆を得られる発表を増やしたいと話した。

（シルバー新報より）

たべもの - 厨房より -
117 あれこれ

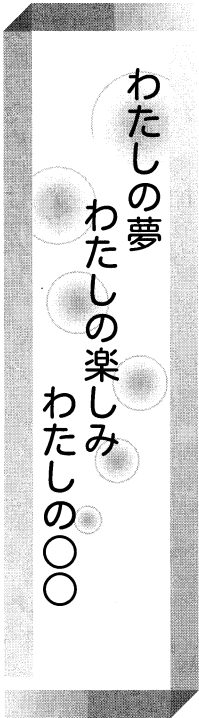
チョコレートについて
～日本のチョコレート2～

江戸時代まではチョコレートは庶民にはなじみがなく、居留外国人や海外から帰った人たちが楽しむものでした。しかし、明治に入り文明開化が進むにつれ輸入・販売するする店が増え、少しずつ身近なものになっていきました。

明治中頃には日本にもチョコレート工場ができ板チョコの生産が始まりました。昭和になると、第二次大戦中に生産が中止されることがありました。その後、カカオ豆・ココアバターが輸入自由化され、多くのチョコレート製品が世に出ました。



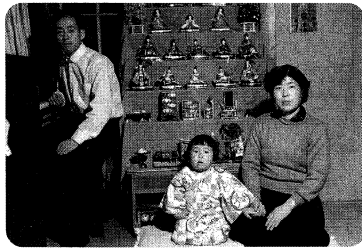
ケアハウス



「私の来し方」

入居者 坂下愛子

私は昭和五年五月に、北海道のオホーツク海沿岸の紋別市から二八キロメートル程山奥に入った鴻之舞^{こうのまい}番外地で生まれました。この地は住友金属鉱山の金山で、金の採掘量はかつて東洋一を誇った町でした。南北に十数キロメートル、東西に狭い地形でしたが、無人だった町が人口の増加とともに、住宅の建築はもとより、坑内の採掘、精錬所等の建設はどんどん進み、人口は一万三千人にもなりました。



娘と一緒に

た。小学校も児童数三二名のスタートから、千五百名強にまでふえました。

私が、さすが住友財閥と想っていたのが、山の斜面を利用して広大な精錬所の建物と、娯楽施設として建てられ管内一といわれた大劇場の存在でした。こけら落としには会社で歌舞伎を招いたようで、歌舞伎好きだった母が大感激したそうです。

社員は住宅料・光熱費・共用浴場・映画は無料、食品・日用品等は低価で購入できました。

女学校は紋別市に通いました。ちやうど戦時中だったため授業などまともにはなく、今日は農家の草むしりや芋掘り、明日は浜の水産加工場へ魚の頭切り等々に駆り出され、学力などついたものはありません。しかし、幸いなことに空爆など受けなかったどころか、米軍の飛行機など一度も見ることがありません。

戦後、鴻之舞小学校の教員となりました。会社の精錬所勤務の傍ら音楽部リーダーをしていた夫と結婚しましたが、同じ町に住む母の助けもありこの鉱山が閉山するまで異動することなく勤め続けることができました。社宅の、六畳間のちゃぶ台の上は、私がテストの採点を終えた後、楽団の練習を終えて帰宅した夫が五線紙を広げます。レコードプレーヤーに針を落として新曲の譜面作りを毎日しているのです。おかげで私はグリーンミラーやデュークエリントン等の曲をすつかり覚えてしまいました。年に一度、あの大劇場で行われる全山芸能祭のトリをつとめるこの楽団のリードギターとして、ギターに巻きつく色とりどりの紙テープを器用に右手で切りながら演奏していたことを思い出します。

鴻之舞も今はなく、夫も母ももうこの世にはおりません。縁あって住むことになったこの浜松の地で、アドナイ館という主によって備えられたこの場所で、私はこれから新しく生きて行くうと思っています。

ケアハウス日誌

11月

1 防災訓練
 7 聖隷クリストファーこども園交流会
 8 入居者健康診断

9・23 読書会

12・13 十字の園大会

13・27 買い物ツアー

13 移動図書

14 エアコン切り替え

15 フラワー教室

20 職員勉強会

21 メガネ相談

21 ビューティーヘルパー

22 業務監査

秋の食事も

12月

6 クリスマスツリー飾りつけ

11・18 買い物ツアー

11 移動図書

13 メガネ相談

14 フラワー教室

14・28 読書会

18 職員勉強会

18 ビューティーヘルパー

19 防災訓練

21 クリスマス祝会

24 口腔ケア

筋力トレーニング (週二回)

カラオケ (週二回)

ブネメソッド (月二回)

デイサービス

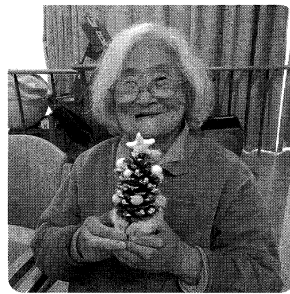
『みんなで作ったクリスマス』

介護職員 宮道 利恵



どんな飾りにしようかな

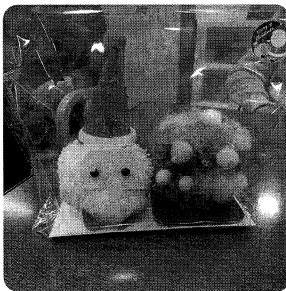
細江デイサービスセンター恒例のクリスマスレクリエーションは、二月五・六・七日の三日間にわたり行われました。今年のクリスマスレクリエーションを行うにあたって担当の職員の話し合いを一〇月上旬から進めて行きました。製作するものは、まつぼっくりツリー・サンタとトナカイのボンボンマスケット・クリスマスリースに決まりました。その話し合いの中で課題となったことは、限られた予算の中で皆さんに喜んで頂ける作品を作るためにはどのようなすれば良いのか？ということでした。皆で考えた結果、デイサービスにある材料や自然の中



素敵なツリーができました

にあるものを上手に使って時間をかけて手作りしていただくということになりました。

まず職員は松ぼっくりやどんぐり、リース用のつるなどクリスマスレクで使えるような材料を公園や山などに探しにいき集めるようにしました。そして利用者さんには、デイサービスにある折り紙を使ってポインセチアや鈴、サンタなどを折つてもらったり、集めてきたどんぐりや松ぼっくりを絵の具で色付けしてもらいました。また毛糸を使ってボンボンも作ってもらいました。二か月かけてクリスマスレクリエーションに必要な材料を利用者さんと職員が協力



ボンボンのサンタさん

して一つ一つ集めていきました。クリスマスレクリエーション当日は、みなさん工夫しながらオリジナルの作品を作り上げることができました。みなさんが目を輝かせながら作業をしていた姿を見てとてもうれしく感じました。材料集めなど大変なことはたくさんありましたが、手間を惜しまずみんなで協力したからこそ素敵な作品ができています。また、送迎などで皆さんの自宅に何うと作品を玄関やお部屋に飾ってくださいているのをよく見かけます。とてもうれしく感じています。ありがとうございます。

細江デイサービスセンターではこれからもみなさんに喜んで頂けるようにいろいろな企画を考えていきたいと思っています。みなさん、これからも一緒に楽しんでいきましょう。

《(♪ デイサービス日誌 ♪)》

	レクリエーション				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
11月	個別グループ活動	フリーレク(集団)	個別グループ活動	フリーレク(誕生会)	個別グループ活動
12月	クリスマスレク	個別グループ活動	フリーレク(集団)	フリーレク(誕生会)	個別グループ活動

《(☆ デイサービスの動き ☆)》

【デイ会議】 11/21 12/20	【出張】 12/10(夏山)	【サービス担当者会議】 11/13,11/21, 11/26,11/28, 11/30,12/17 (川端、宮道)	【実習】 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部2年	ボランティア(傾聴) 池田様 ボランティア(芸能等披露) 11/11,12/19 バルーンアートヒロ様 11/29,12/14 横山様のフラワーアレンジメント	11/14,12/16 ブンネメソッド 12/27 クラウンさわ様
--------------------------	-------------------	---	---------------------------------	--	--

新職員紹介



村松 やよい
S43年3月17日生
出身地 浜松市
部門 デイサービス
介護職員

一二月から細江デイサービスに異動でまいりました。今までの経験を少しでも生かせることができればと思っております。どうぞよろしく願います。

「こども園交流会」

一月七日に聖隷クリストファーこども園の園児との交流会が行われました。毎年この時期の恒例になっており皆さん心待ちにしている行事の一つです。今年三歳児約三〇名と一緒に歌ったり、折り紙のコマやカエル、紙飛行機などで遊びました。元気でかわいい子供たちの様子に自然と笑顔がこぼれ楽しい交流会となりました。



曳馬野

中村哲先生を偲びて

愛に死ぬ 不条理なるや アフガンの

民を愛せし 君の微笑み

春海

窓外に 紅葉ゆれて 鳥の鳴く

アドナイに十年 恵みに溢れて

香代子

お助けを たのみて登る 老いの坂

かなわぬ夢の まだありておかし

佐和子

耳よりな話



『座り続ける時間を減らそう』

座り過ぎや睡眠過多といった活動量の低下は、体に様々な影響をもたらします。日本人は平均で七時間も座っており、これは世界一長いと言われています。座っている間は筋肉がほとんど動かないためふくらはぎの活動が停止します。これにより、下半身において血液が滞り血栓

ができやすくなります。

また、座るとカロリー消費量が減ります。体重が増え、血糖値やコレステロール値上昇などの影響が出てきます。

一時間座ったら五分歩くなど座り続けないよう心がけましょう。できない場合は、二三分程度座ったままかかとを上げ下げする、膝を伸ばして脚を上げるなども効果的です。

座り過ぎを防いで健康寿命を延ばしましょう。(K)

献金感謝

11月分	2件	60,000円
12月分	16件	230,000円
合計	18件	290,000円
4~12月累計		671,000円

『献金者ご芳名』

(敬称略)

11月
高木直雄、匿名

12月

吉崎敬次、鈴木章子、佐藤房江、塚本ゆり子、小林眞、近藤いよ、平井章、古橋克巳、鈴木雅子、四元めぐみ、加藤はる、古川幸子、遠州教会、信州教会 匿名二名

あとがき

あけましておめでとうございます。令和初のお正月はいかがお過ごしでしたでしょうか？

私事ではありますが、大学生の子どもたちが二人とも帰省せず大人だけの静かな年越しとなつてしまいました。

いつの間にか大きくなり、こうして親の手の中から飛び立って行くのだとうれしいというよりまだまだ寂しい気持ちです。

もう少し子離れして自分の時間を楽しむことが今年のさやかな目標です。(K)